



簡易取扱説明書

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DPR7S IC-DPR7SBT

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。

必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。
無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなりますのでご注意ください。

Icom Inc.



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

チャンネルについて

- ◎ CH01～CH14、CH16～CH30 :陸上・海上用チャンネル
- ◎ CH15(呼出CH)★¹ :呼出用チャンネル
- ◎ CH S1～CH S5★² :上空用チャンネル

★1 一時的な呼び出しをするときに使用します。(P.7)

多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている陸上・海上用チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

★2 上空用チャンネルでは送信できません。

出荷時、上空用チャンネルの使用は、「OFF」(P.23)に設定されています。

ユーザー登録について

弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/support/business/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力してください。

本製品の特長について

- ◎ IP67/IP66/IP55/IP54★¹の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーパック、アンテナ、保護カバー装着時に限る)
 - ◎ デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
 - ◎ サブチャンネルPTT機能(P.15)搭載により、最大3CH間で送受信ができます。
 - ◎ チャンネル番号音声案内機能を使用すると、選択したチャンネル番号を音声で読み上げます。
 - ◎ Bluetooth®機能搭載により、VS-3などのBluetooth®対応機器を使用できます。(IC-DPR7SBT)
 - ◎ ポケットビープメロディー機能を使用すると、ポケットビープの代わりとして、メロディーで通知できます。
 - ◎ あらかじめ設定した複数のチャンネルを巡回受信できるメモリーチャンネルスキャン機能を装備しています。
 - ◎ 個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。★²
 - ◎ イコライザー機能を使用すると、好みの音質にできます。
 - ◎ ノイズキャンセル機能を使用すると、送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させます。
- ★1 「IP表記について」(「取扱説明書」(PDFファイル))をご覧ください。
★2 AMBE+2™方式を採用している機種に対応しています。

簡単ご利用ガイド

IC-DPR7S/IC-DPR7SBT

1. 電源を入れ、音量を調整する(P.2)

[電源/音量]を時計方向に回します。

2. 通話チャンネルを合わせる(P.7)

[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※[CH切替]を回してもチャンネルを選択できません。

● 選択範囲:01~14、16~30、S1~S5

※相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。

通話チャンネルが決まっていない場合

「呼出CH」に合わせて、呼び出します。

※呼び出し後、通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに切り替えてください。

※一時的な呼び出しに使用するため、「呼出CH」ではユーザーコードや秘話機能が使用できません。

3. 自分の音声を送信する(P.7)

[PTT]を押しながらマイクに向かって通話相手に呼びかけます。

● [PTT]を押しているあいだは、[状態表示]が赤色に点灯します。

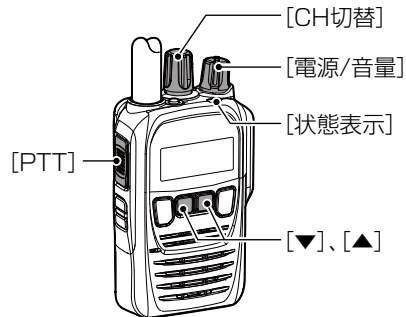
4. 相手の音声を受信する(P.7)

[PTT]をはなして、待ち受け状態にします。

● 受信しているあいだは、[状態表示]が緑色に点灯します。

5. 通話をつづける(P.7)

送信と受信を交互に通話をつづけます。

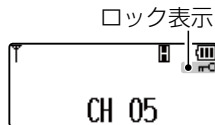


◆ ロック機能(P.13)

[機能/]を長く(約1秒)押します。

- 「ピピッ」と鳴って、 が表示されます。

※同じ操作をすると、解除できます。



◆ 通話チャンネルに設定できる便利な機能

◎ 通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH30、CH S1～CH S5*)には、ユーザーコード、および秘話キーを設定できます。

◎ プライベートチャンネル機能(P.22)を使用すると、「呼出CH」と通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH30、CH S1～CH S5*)の切り替えに便利です。

◎ プライベートチャンネルスキャン機能を使用すると、「呼出CH」と通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH30、CH S1～CH S5*)の通信を交互に受信(監視)できます。

★ 上空用チャンネル(CH S1～CH S5)では送信できません。

◆ ユーザーコード(UC)について(P.9)

同じユーザーコードを設定する相手とだけ通話できます。

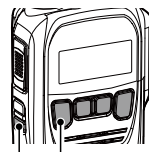
① 相手と同じ通話チャンネル(例:CH 05)に設定します。

② [機能/]を短く押して、「UC-OFF」表示を選択します。

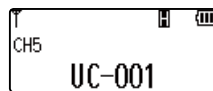
③ [▼]、[▲]を押して、通話する相手と同じユーザーコード(例:001)を設定します。

※ [設定] を短く押すと、編集できる桁が点滅します。

[機能/]を短く押すと、点灯に変わり、確定します。



編集できる桁が点滅
編集前の数字に戻る



◆ 秘話機能について(P.11)

同じ秘話キーを設定する相手とだけ通話できます。

① 相手と同じ通話チャンネル(例:CH 05)に設定します。

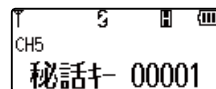
② [機能/]を短く押して、「秘話 OFF」表示を選択します。

③ [▼]、[▲]を短く押して、「秘話 ON」表示に切り替えます。

④ [設定] を短く1回押します。

※ 短く押すごとに、編集できる桁が移動します。

⑤ [▼]、[▲]を押して、通話する相手と同じ秘話キー(5桁)を設定します。



⑥ [機能/]を短く押すと、確定します。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」(冊子)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。(2020年7月現在)

簡易取扱説明書(本書)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(PDFファイル)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎個別呼び出し機能
- ◎その他の機能について
- ◎別売品について
- ◎定格

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート情報→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

※PDFファイルをご覧になるためには、Adobe Acrobat Readerが必要です。

お持ちでない場合は、Adobeホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。



アイコム株式会社 サポート情報

<https://www.icom.co.jp/support/business/>

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

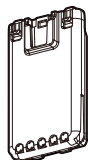
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,315,860, #8,200,497, #7,970,606 and #6,912,495 B2.

自転車運転時のご注意

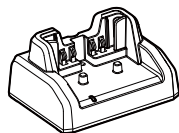
- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

はじめに

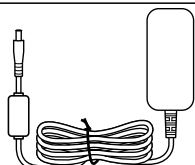
付属品について



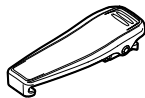
バッテリーパック
(BP-290)



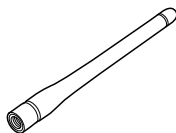
急速充電器
(BC-226)



ACアダプター
(BC-123S #64
(ストレート型):
急速充電器用)



ベルトクリップ
(MBB-3)



アンテナ
(FA-S06U)



ハンドストラップ

- 簡易取扱説明書(本書)
- 申請書類一式
- 保証書

※付属品の一部は、別売品としてもご用意しています。

使用後はリサイクルへ



Li-ion

この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

- ◎LED照明器具
- ◎電磁調理器
- ◎給湯器
- ◎自動車に搭載された電子機器
- ◎太陽光発電装置

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Adobe、Acrobat、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

電波法上のご注意

- ◎ 無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
- ◎ 登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。同梱の「アンテナについて」を参考にしてください。技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎ 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎ 本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。**上空で使用する場合は、CH S1～CH S5を使用してください。**無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の徴収又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

防塵/防水性能について

バッテリーパックとアンテナ、保護カバーを正しく取り付けけた状態で、IP67/IP66/IP55/IP54の防塵/防水性能があります。次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着した状態、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、防水形スピーカーマイクロホンを取り付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- -20℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーパック、アンテナ、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

バッテリーパック(BP-290)、アンテナ(FA-S05U/FA-S06U/FA-S07U)、防水形スピーカーマイクロホン(HM-172)を無線機本体に装着することで、IP67の防塵/防水性能があります。※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。※別売品は、防塵/防水性能をご確認の上、ご使用ください。

はじめに

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯のBluetoothで通信するときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局) および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えください。

※Bluetooth接続の切断方法については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンター(P.31)までお問い合わせください。

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」 : FHSS方式

「1」 : 想定干渉距離が10m以下

「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを無線機に正しく取り付けられた状態で洗浄してください。

※常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

- ・無線機本体、コネクタの保護カバーが破損している場合
- ・落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ◎ 利用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

これを無視して誤った取り扱いをすると「利用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

△警告

これを無視して誤った取り扱いをすると「利用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

△注意

これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【免責事項について】

- ◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- ◎本製品を人命救助などの目的とした通信に使い、通信の途絶、電池の消耗、故障や誤動作などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■無線機本体について

△危険

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。引火、火災、爆発の原因になります。

△警告

- ◎民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- ◎電子機器の近く（特に医療機器のある病院内）では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。

安全上のご注意

■ 無線機本体について(つづき)

△警告

- ◎ **大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
- ◎ **製品の分解や改造は、絶対にしないでください。**
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。**
感電、故障の原因になります。
- ◎ **万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意

- ◎ **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。
- ◎ **針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。

- ◎ **無線機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ **指定以外の別売品を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
- ◎ **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- ◎ **-20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- ◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

■バッテリーパックについて

⚠危険

- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下したり、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- ◎ コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。

- 弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
- バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。

⚠警告

- ◎ 使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- ◎ 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。
- ◎ 電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 指定の充電時間以上、充電しないでください。
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。


安全上のご注意

■ バッテリーパックについて(つづき)

△警告

- ◎ バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、**放置しないでください。**
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎ テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ バッテリーパックは、**ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。**
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

△注意

- ◎ 下記の事項を守らないと、**破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**
- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、 (残量あり)の状態を表示(P.3)するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月：-20～+50℃
約3ヵ月：-20～+40℃
約1年：-20～+20℃

- 以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
BC-214/BC-225/BC-226/BC-227：15℃～40℃
- -20℃～+60℃以外の環境で使用しないでください。
- 寒い屋外や冷えた状態で充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- ◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
乾いたやわらかい布でふいてください。

■ 充電器について

△危険

- ◎ 下記の事項を守らないと、**破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
- 充電器(付属品:BC-226)とACアダプター(付属品:BC-123S #64(ストレート型))は、本製品の充電以外に使用しないでください。
- 充電器(別売品:BC-214/BC-225/BC-227)には、弊社指定以外のACアダプターを使用しないでください。
- 弊社指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。

⚠警告

- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
- BC-226を連結して充電する際は、BC-228 (別売品:BC-226連結充電器用ACアダプター)が必要です。
- BC-226(付属品)は、7台以上連結して充電しないでください。
連結して充電できるのは、最大6台までです。
- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。
また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
すぐにACコンセントから電源ケーブルを抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げ販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠注意

- ◎ 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
充電器の火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。
- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
- 以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
BC-214/BC-225/BC-226/BC-227 : 15℃～40℃
- 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACコンセントから電源ケーブルを抜いてください。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

もくじ

はじめに	i	1. ご使用前の準備	1
チャンネルについて	i	■ 付属品の取り付けかた	1
ユーザー登録について	i	■ 別売品を接続するには	2
本製品の特長について	i	■ 電源と音量の調整	2
取扱説明書の構成について	iv	■ 充電のしかた	3
音声圧縮(符号化)方式について	iv	■ 電池の残量表示について	4
電磁ノイズについて	iv	■ 電池の残量警告音について	4
付属品について	v	■ 正しい充電のために	4
登録商標/著作権について	v	■ バッテリーパックの膨らみについて	4
自動車運転時のご注意	v	■ 充電時間と使用時間の目安	5
電波法上のご注意	vi	■ バッテリーパックの特性と寿命について	5
防塵/防水性能について	vi		
別売品の使用による防塵/防水性能について	vi	2. 操作方法[基本編]	6
電波干渉についてのご注意	vii	■ 各部の名称	6
2.4GHz現品表示記号の意味について	vii	■ 表示部	6
海水が付着したときは?	vii	■ 通話チャンネルを合わせる	7
		■ 自分の音声を送信する	7
安全上のご注意	viii	■ 相手の音声を受信する	7
■ 無線機本体について	viii	■ 通話をつづける	7
■ バッテリーパックについて	x	■ 通話するときのアドバイス	8
■ 充電器について	xi		
		3. 操作方法[応用編]	9
		■ ユーザーコードを使用して通話するには	9
		■ 秘話キーを使用して通話するには	11

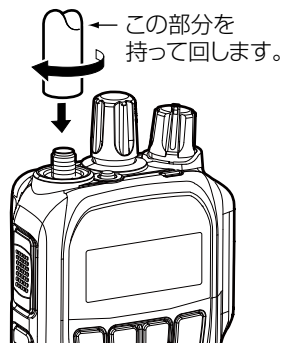
4. そのほかの機能について	13
■ ロック機能	13
■ 送信出力の切り替え	13
■ VOX機能の使いかた	13
■ 録音機能	14
■ サブチャンネルPTT機能	15
■ Bluetooth®の使いかた(IC-DPR7SBT)	15
■ ペアリングのしかた(IC-DPR7SBT)	15
5. 各種機能の設定	18
■ 設定モードに移行するには	18
■ 設定のしかた	18
■ 設定項目一覧	19
6. ご参考に	28
■ 日常のお手入れと点検について	28
■ 初期状態に戻す(リセットする)には	28
■ 故障かな?と思ったら	29
■ 弊社製無線機との相互使用について	30
■ アフターサービスについて	31
さくいん	32

1

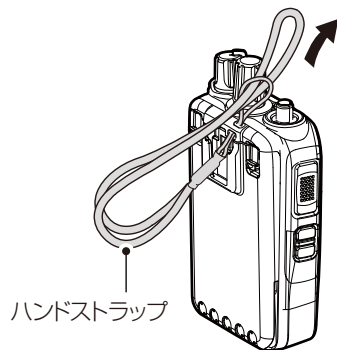
ご使用前の準備

■付属品の取り付けかた

【アンテナ】



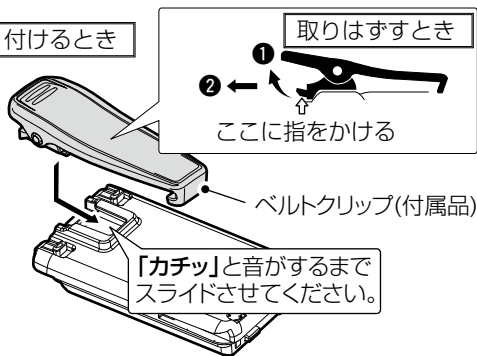
【ハンドストラップ】



【ベルトクリップ】

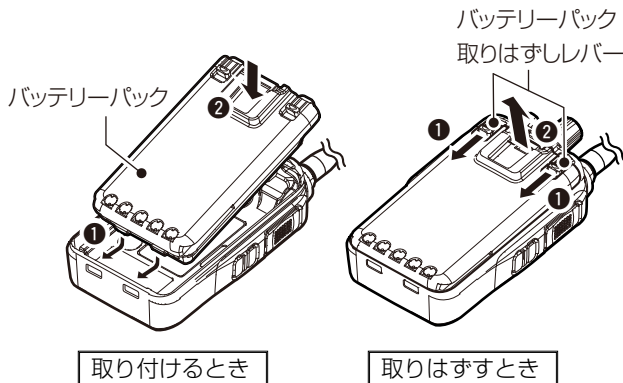
本体からバッテリーパックを取りはずしてから、ベルトクリップを着脱してください。

取り付けるとき



【バッテリーパック】

本体の電源を切ってから、下図の手順(①、②)にしたがって、バッテリーパックを着脱してください。



△注意

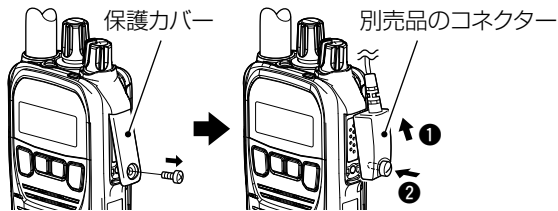
しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

■別売品を接続するには

【別売品の取り付けかた】

- ① 市販のプラスドライバーとマイナスドライバーを用意します。
- ② 無線機の側面側にある保護カバー固定用のネジ(1本)をはずします。
- ③ 保護カバーをはずして、別売品のコネクター部分を図のように接続します。



※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。

【外部電源制御について】

別売品を使用する場合は、外部電源制御を「5V*」、または「AUTO」に設定する必要があります。

※設定モードの移行方法は18ページをご覧ください。

★別売品の「HM-159SJ」、「HM-172」、「V/S-2SJ」、「OPC-2277」、「HM-238」を接続する場合は、「5V」に設定が必要です。詳しくは、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)をご覧ください。

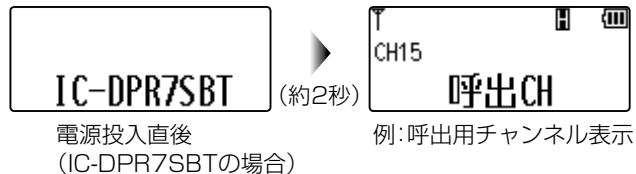


■電源と音量の調整

【電源の入れかた】

[電源/音量]を時計方向に回します。

- 【状態表示】が点灯し、「ピー」と鳴ります。

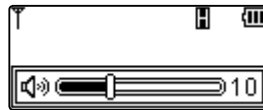


【音量調節のしかた】

[電源/音量]を時計方向に回すと、音量が大きくなります。

調整できる範囲は、「0~32」です。

※音量が最小のときは、キー操作音のピーブ音、通話チャンネル番号案内の音声や受信した音声は、聞こえません。



1 ご使用前の準備

■充電のしかた

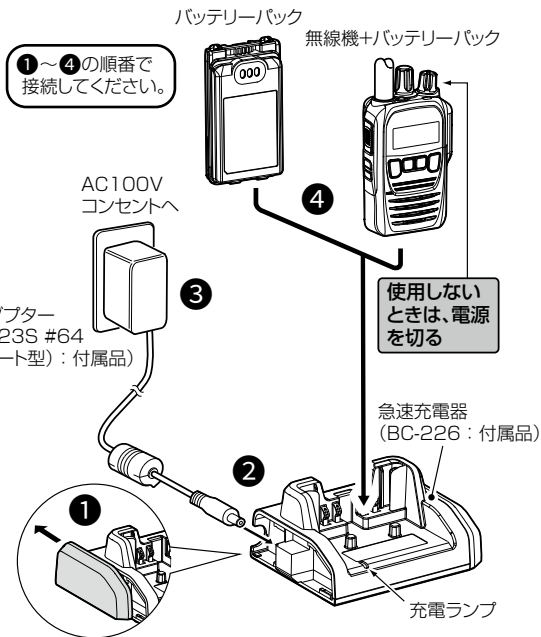
お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

- ◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
- ◎ 電源を入れたまま充電すると、充電モードに移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
使用しないときは、電源を切って充電してください。
- ◎ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントから充電器の電源ケーブルを抜いてください。

【充電モード(受信専用モード)について】

本製品の電源を入れたまま充電すると、自動的に充電モードに移行します。

- ◎ 充電モード時は、送信できません。
受信専用の「R」が点灯します。
- ◎ 音量調整できる範囲は、「0～10」です。



△危険

- ◎ 充電するときは、必ず本製品に付属の充電器、または弊社ホームページの「取扱説明書」(PDFファイル)に記載の充電器をご使用ください。
- ◎ 指定(BP-290)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
- ◎ 「安全上のご注意」(P.viii)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■電池の残量表示について

電池の残量が少なくなると、電池マークが点滅し、極端に少なくなると「電源 OFF」を点滅表示して、電源が切れます。

※交換時期になりましたら、バッテリーパックは充電し、アルカリ電池ケース(BP-291)の場合は、新しい単3形アルカリ乾電池と交換してください。

【電池残量の意味】



■電池の残量警告音について

残量が **点滅** 表示になると、残量警告音が「ピーピーピー」と、約30秒ごとに鳴ります。

警告音が鳴り出したら、すぐに充電してください。

※ **点滅** 表示の状態で使用をつづけると、残量警告音が「ピーピーピピ…」と2秒間鳴りつづけたあと、無線機の電源が自動的に切れます。

【電池残量が極端に少ないとき】



■正しい充電のために

◎バッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電ができません。

なお、満充電した直後に再充電しないでください。

◎満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。長期間バッテリーパックを保管する場合は、残量表示が **点滅** (残量あり)の状態になるまで使用し、無線機からバッテリーパックを取りはずして保管してください。

◎極端に高温、または低温の環境下や、バッテリーパックと充電器の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。充電器は、次の環境でご使用ください。

BC-214/BC-225/BC-226/BC-227 : 15℃～40℃

◎充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがありますので、乾いた布などで、各端子を定期的についでください。

■バッテリーパックの膨らみについて

このような環境や条件で使用をつづけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

◎ひんぱんに充電している

◎満充電直後でも再充電している

◎高温な場所で使用・保管している

◎本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

1 ご使用前の準備

■充電時間と使用時間の目安

ご使用になるバッテリーパックや充電器によって、充電時間や使用できる時間が異なります。

名称 定格項目	BP-290		
電池の種類	リチウムイオン		
電池の容量	1910mAh min. / 2010mAh typ.		
出力電圧	7.2V		
寸法 (幅×高さ×奥行)	51.7×85.4×14.8 【条件】突起物は含まず/【単位】mm		
使用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力 1W	約20時間	約15時間
	送信出力 5W	約13時間	約11時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用			
充電時間	付属の充電器(BC-226)使用時:約2.7時間		
	◎別売の充電器使用時		
	BC-214:約2.8時間		
	BC-225:約2.5時間 BC-227:約2.4時間		

※出荷時、パワーセーブ機能(P.23)は、「OFF」に設定されています。

※バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

【アルカリ電池ケースをご使用の場合】 (別売品:BP-291)
市販の単3形アルカリ乾電池をBP-291に入れて使用した場合の使用時間の目安です。

使用時間	パワーセーブ	ON	OFF	
	送信出力	1W	約7時間	約5.5時間
		5W	約1時間	約40分
【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用				

※使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、使用時間が大きく異なることがあります。
また、アルカリ乾電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。

■バッテリーパックの特性と寿命について

◎バッテリーパックは、消耗品です。

充電できる回数は、300回～500回が目安です。

充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止してください。

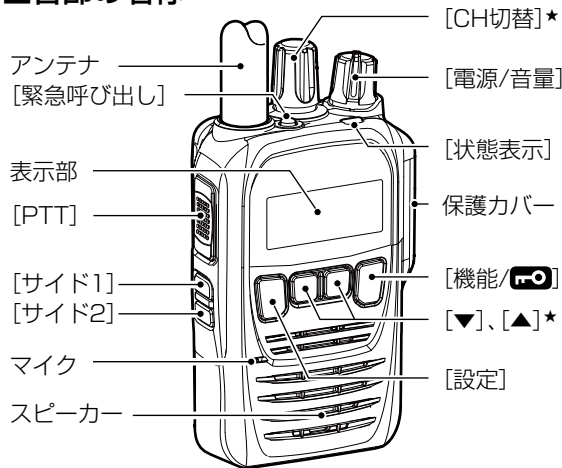
◎発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。

◎使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。

◎劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。

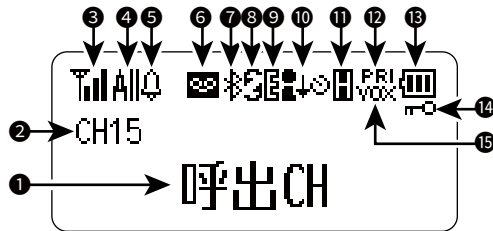
◎充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。
無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

■各部の名称



★[CH切替]と[▼]、[▲]は同じ動作をします。
本書では[▼]、[▲]を使用して説明しています。

■表示部



①	音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードなどを表示
②	通話チャンネル、または着信などの状態を表示
③	受信している電波の強さを4段階で表示  無 弱 中 強
④	呼び出しモードを表示
⑤	点滅:通話相手から個別呼び出しを受けたとき 点灯:ポケットビープ機能を設定中
⑥	録音データ状態、録音動作状態を表示
⑦	点灯:Bluetooth機能が「ON」のとき
⑧	点灯:秘話機能が「ON」のとき
⑨	点灯:緊急呼び出し機能が設定されているとき
⑩	 : マンダウン機能が「ON」のとき  : ローンワーカー機能が「ON」のとき  : 上記の機能が両方とも「ON」のとき
⑪	各通話チャンネルの送信出力の設定状態を表示
⑫	PRI : プライベートチャンネルスキャン中 MC : メモリーチャンネルスキャン中 SUB : サブチャンネルスキャン中
⑬	電池残量を4段階で表示
⑭	点灯:ロック機能が動作中のとき
⑮	点灯:VOX機能が「内部」、「Bluetooth」のとき

2 操作方法[基本編]

■通話チャンネルを合わせる

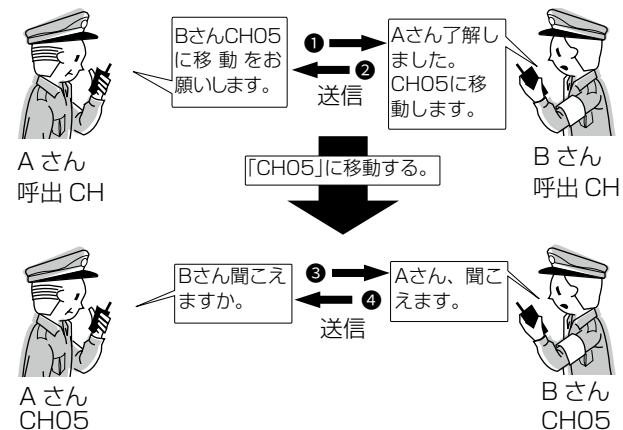
[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※ 相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。
※ [▼]、[▲]を押しつづけると連続動作します。

【通話チャンネルが決まっていない場合】

「呼出CH」に合わせます。

「呼出CH」は、一時的な呼び出しにだけ使用しますので、グループ通話、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに変更してから通話してください。



■自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信状態となり、[状態表示]が赤色に点灯します。



【マイクの使いかた】

マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。

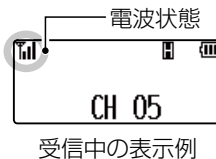
マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

■相手の音声を受信する

[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、相手局が送信すれば、受信した相手の音声聞こえます。

受信中は、[状態表示]が緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示]が消灯しています。



■通話をつづける

相手が送信しているときは、[PTT]を押しても混信防止機能が動作して、「ブップッ…」と鳴りつづけて、送信できません。相手の通話が終了してから、送信してください。

※ 送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

■通話するときのアドバイス

1. 送信時間制限について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。

連続通話時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。

停止してから1分間は送信することができません。

通話を再開する場合は、1分後に[PTT]を押してください。

2. 混信防止(キャリアセンス)機能について

無線局の運用では、自分が送信中に、ほかの人が同じ通話チャンネルで送信すると、混信を受け通話ができない場合があります。また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがあります。故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

3. 電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。このような混信は、グループごとに[通話チャンネル]の組み合わせを適切に設定することで防止できます。

4. 通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

◇通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。(送信出力:5W)

見通しのよい場所 :約4km

市街地 :約0.5~1km

◇通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

5. パワーセーブ機能について

何も操作しない(受信もしない)状態が10秒を超えると、自動的に無線機本体の動作を休止状態にし、電池の消耗を抑えます。

※工場出荷時や全設定初期化時、設定されていません。

必要に応じて、設定モード(P.23)で設定してください。

なお、個別呼び出し機能(P.20)とは併用できません。

本製品には3つの通信方式がありますので、ご利用になるエリアや目的に応じて設定してください。

◎ユーザーコード

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。ほかの人の音声を聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くときに使用します。

※通話チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。

◎秘話機能(P.11)

秘話機能を設定すると、通話内容が傍受されるのを防止できます。

特定の相手にだけ音声を送信するときに使用します。

※通話チャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。

◎個別呼び出し

詳細な設定をすることで「全局呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」を構成できます。

※弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)をご覧ください。

■ユーザーコードを使用して通話するには

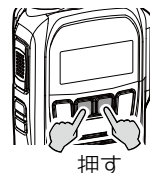
1.通話チャンネルを合わせる

[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

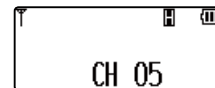
- 選択範囲：01～14、16～30、S1～S5★

※ [▼]、[▲]を押しつづけると連続動作します。

★ 上空用チャンネル(CH S1～CH S5)では送信できません。



押す



通話チャンネル表示
(表示例:5チャンネル)

2.UC(ユーザーコード)表示にする

[機能/]を押して、「UC OFF」(初期設定時)表示を選択します。

- [機能/]を押すごとに、「UC OFF」→「秘話 OFF」→「通話チャンネル」の順に切り替わります。

※ 何も操作していない状態が約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。



押す



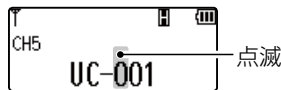
3.ユーザーコードを設定する

[▼]、[▲]を押して、通話する相手と同じユーザーコード(例:001)を設定します。

- 選択範囲：OFF(000)、001～511

【編集できる桁を変更するには】

- ① [設定]を短く押します。
 - 編集できる桁が点滅します。



短く1回押したとき
(例:上位1桁目)

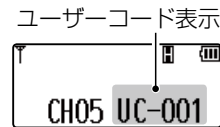


4.自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、[状態表示]が赤色に点灯します。

※ 設定したユーザーコードは、通話チャンネル(例:CH05)の右側に表示(例:UC-001)されます。



[状態表示]が
赤色に点灯



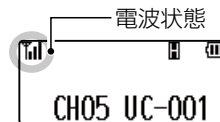
5.相手の音声を受信する

[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ通話チャンネルとユーザーコードで通話する相手局の音声を受信できます。受信中は、[状態表示]が緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示]が消灯しています。

【受信中の表示例】

ユーザーコードが異なる誰かの電波を受信しているときも、[状態表示]が緑色に点灯し、電波状態を表示します。



受信中の表示例

3 操作方法[応用編]

■秘話キーを使用して通話するには

1.通話チャンネルを合わせる

[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

- 選択範囲：01～14、16～30、S1～S5*

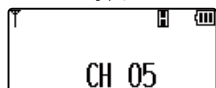
※ [▼]、[▲]を押しつづけると連続動作します。

一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。

- ★ 上空用チャンネル(CH S1～CH S5)では送信できません。



押す



通話チャンネル表示
(表示例：5チャンネル)

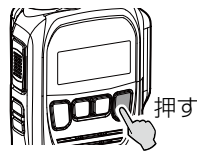
2.秘話表示にする

[機能/☎]を押して、「秘話 OFF」(初期設定時)表示を選択します。

- [機能/☎]を押すごとに、「UC OFF」→「秘話 OFF」→「通話チャンネル」の順に切り替わります。

※ 何も操作していない状態が約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。

- ※ 「秘話 OFF」の場合、秘話機能を使用する他局の音声は聞こえません。



押す

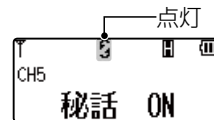


3.秘話機能をONにする

[▼]、[▲]を押して、「秘話 ON」表示に切り替えます。

- [☎]が点灯します。

※ 「秘話 ON」の場合、自分の音声は、秘話キーが異なる他局には聞こえ(傍受され)ません。



点灯

4.秘話キーを設定する

- ① [設定]を短く1回押します。

- 秘話キーを表示します。

- ② [▼]、[▲]を押して、通話する相手と同じ秘話キー(5桁)を設定します。

- 選択範囲：00001～32767

【編集できる桁を変更するには】

- ① [設定]を短く押します。

- 編集できる桁が点滅します。

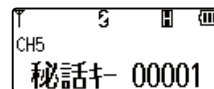
- ② [▼]、[▲]を押して、秘話キーを選択します。

- ※ [サイド2]を押すと、編集前の数字に戻ります。

- ③ 内容を確定するときは、[機能/☎]を短く押す、または[設定]を短く押します。

- 「秘話 ON」が表示されます。

※約10秒後、通話チャンネル表示に切り替わります。



押す

編集できる桁が点滅
編集前の数字に戻る

5.自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、[状態表示]が赤色に点灯します。

6.相手の音声を受信する

[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ秘話キーの相手局の音声聞こえます。

また、秘話機能を使用しない他局が送信しても同様に相手局の音声聞こえます。

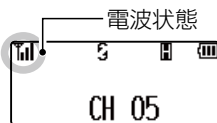
受信中は、[状態表示]が緑色に点灯し、受信している電波状態(P.7)を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示]が消灯しています。

【受信中の表示例】

秘話キーが異なる誰かの電波を受信しているときも、[状態表示]が緑色に点灯し、電波状態を表示します。

※他局が自分と異なる秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。



ご注意

機密性を要する重要な通話に本製品をご使用になることは、おすすめできません。


また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

4 そのほかの機能について

■ロック機能

不用意に無線機のキーに触れたりしても、設定や表示が変わらないようにする機能です。

[機能/]を長く(約1秒)押します。

・「ピピッ」と鳴って、が表示されます。 ロック表示

※同じ操作をすると、解除できます。

〈ロック中にできる操作〉

◎ロック機能の解除

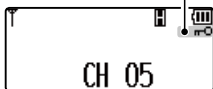
◎送信/受信の切り替え

◎モニター機能のON/OFF

◎電源のON/OFFと音量調整★



★音量調整がロックされるように、設定モード(P.23)で変更できます。

※エマージェンシーの設定がONの場合は、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。




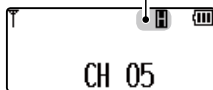
■送信出力の切り替え

[設定]を長く(約1秒)押すごとに、「送信出力 5W」/「送信出力 1W」を切り替えられます。

◎5W(High)は「」、1W(Low)は「」を表示します。

◎通話相手との距離が近いときは、1Wで使用すると、消費電力を節約できます。

※上空用チャンネル(P.23)表示(S1~S5)のときは、が点灯し、送信出力の切り替えはできません。



■VOX機能の使いかた

本製品は[PTT]を押さずに、無線機本体のマイク、またはBluetooth機器(VS-3)からの音声によって送受信を自動的に切り替えるVOX機能を搭載しています。

◎VOX機能の設定のしかた

設定モードで、VOX機能の設定(P.20)を「内部」、または「Bluetooth」に変更してください。

◎VOX感度の設定のしかた

最適なVOXの感度に設定します。

①設定モードで、VOX感度の設定を選択します。(P.20)

②通話するときと同じ大きさの音を出しながら、[▼]、[▲]を押して、VOX感度を設定します。

・声を出しているあいだ、継続して[状態表示]が赤色に点灯する感度に設定してください。

※[状態表示]が赤色に点灯するだけで、送信はしません。

③[PTT]を押して、設定モードを解除します。

◎VOXディレイの設定のしかた

送信停止までの遅延時間を設定します。

①設定モードで、VOXディレイの設定を選択します。(P.20)

②[▼]、[▲]を押して、VOXディレイを設定します。

③[PTT]を押して、設定モードを解除します。

■録音機能

通話、および不在時に受信した音声を録音できます。

録音された最新の内容(最大5分間の録音)は、録音履歴を消去するまで、保持されます。

5分を超えた内容は、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。

※工場出荷時や全設定初期化時、設定されていません。

必要に応じて、設定モード(P.22)で設定してください。

※本製品の録音データは、取り出せません。


【録音機能をご利用時のご注意】

処理が完了する前にバッテリーパックを取りはずした場合、録音データが消えることがありますのでご注意ください。

1.呼び出しを受ける(録音開始)

音声スピーカーから聞こえると、自動で録音が始まります。

※録音一時停止中は、自動で録音されません。


・[状態表示]が緑色に点灯すると同時に、が点滅します。

※自局から音声を送信した場合でも、自動で録音を開始します。




2.応答する(録音継続)

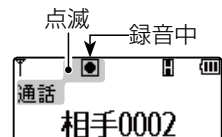
① [状態表示]が消灯し、待ち受け状態になります。

・は、点滅をつづけます。

② [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に応答します。

・[状態表示]が赤色に点灯します。

は、点滅をつづけます。





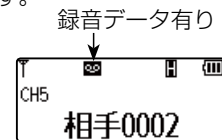
自局宛の呼び出しに
応答したときの表示例

3.終話する(録音終了)

通話が終わったら、[PTT]をはなします。


・[状態表示]が消灯します。

その後、何も操作しない状態が5秒つづくと、が消灯し、が表示されます。



終話したときの表示例

【録音した音声を再生するには】

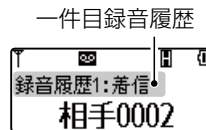
① 右図のように、録音履歴が表示されるまで、[機能/]を短く押しします。

② 再生したい履歴を、[▼]、[▲]を押して選択します。

※「録音履歴」:(発信/着信/不在)から順に最新の履歴となるように記録されています。

③ [設定]を短く押しします。

・「再生中」が表示されます。



4 そのほかの機能について

【録音/再生機能の動作について】

- ◎送信したとき、および自局宛での信号を受信したときに、自動で録音を開始します。
- ◎ユーザーコードや個別番号が一致しない場合など、音声が出力されない通信は、録音されません。
そのとき、再生中の場合は、再生をつづけます。
- ◎終話するまでの通話を1件として録音します。
録音を一時停止すると、送信中や受信中に再開しても、別の1件として録音されます。
- ◎録音時間の合計が5分を超えた場合には、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。
録音件数は、録音時間の合計が5分以内であれば、最大30件です。
- ◎再生中に自局宛の呼び出しを受信した場合は、再生が停止されると同時に受信音声が出力され、録音を開始します。
- ◎緊急呼び出しを送信、または受信したとき、警告音が「ピピピ…」と鳴っているあいだは、**[■]**が点滅していますが、録音はされません。応答されたら、録音を開始します。

■サブチャンネルPTT機能

[サイド1]、[サイド2]の操作により、最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

※ サブチャンネルPTT機能を設定時、設定できない機能や[サイド1]、[サイド2]に割り当てて使用できない機能があります。

■Bluetooth®の使いかた(IC-DPR7SBT)

- ◎本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。
※この機能は、設定モードでの設定が必要です。
- ◎Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。
- ◎本製品は、最大8台(ヘッドセット7台、データ端末1台)までのBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。
- ◎VS-3(Bluetooth®ヘッドセット)
本製品と別売品のVS-3をBluetoothで接続することで、VS-3から送受信の操作ができます。

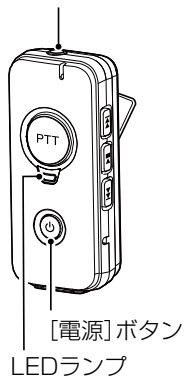
■ペアリングのしかた(IC-DPR7SBT)

- ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。
一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。
- ◎複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。
このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。
 - ◎電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体側のスピーカーから音が出るように切り替わります。
無線機本体側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

1.VS-3をペアリングモードにする

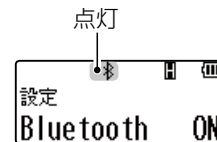
- ①LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、VS-3の[電源]ボタンを長く(約6秒)押します。
- ②「ピパ★」と音が出て、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。
※はじめてVS-3をご使用になる場合は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。
※ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。
★VS-3に接続しているイヤホンから音が鳴ります。

イヤホンジャック(φ3.5mm)




2.Bluetooth機能をONにする

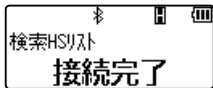
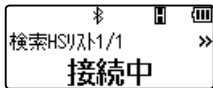
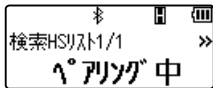
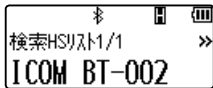
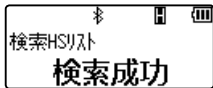
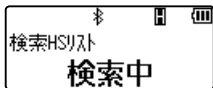
- ①本製品の電源を切った状態で、[機能/Bluetooth]を押しながら、電源を入れます。
・「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
- ②[機能/Bluetooth]から手をはなしたら、すぐに[機能/Bluetooth]を短く押します。
・「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「動作」を表示すれば、設定モードに移行しています。
- ③[設定]を押して、「Bluetooth」を選択します。
- ④[▲]を押します。
- ⑤設定モードのまま、次の手順「3.IC-DPR7SBTとVS-3をペアリングする」を操作します。



4 そのほかの機能について

3.IC-DPR7SBTとVS-3をペアリングする

- ① [機能/- ② [PTT]を押します。
 - 「検索中」が表示されます。
 - 「検索成功」が表示され、1秒後に検索結果を表示します。※「検索失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、検索してください。
- ③ [▼]、[▲]を押して、接続したい機器を選択します。
- ④ [設定]を長く(約1秒)押します。
 - 「ペアリング中」、「接続中」、「接続完了」の順に表示されます。※「ペアリング失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、手順③から操作してください。
- ⑤ [設定]を1回押して、[PTT]を押します。
 - 設定モードが解除され、待受画面に戻ります。



【ペアリング後の動作について】


一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。


下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

◎無線機のBluetooth機能が「ON」

◎無線機が待ち受け状態

◎Bluetooth機器の電源が「ON」

※接続中は「」が点滅します。

接続が完了すると「」が点灯します。

※「Bluetooth 機器一覧」からも接続できます。(P.26)

※2020年7月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。

◎電子レンジなどによる妨害

◎無線LANによる妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をばなすなどしてください。



また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

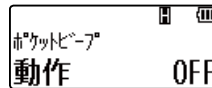
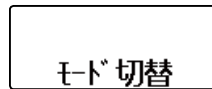
運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

設定項目一覧は19ページをご覧ください。

■設定モードに移行するには

【操作のしかた】

- ① 本製品の電源を切った状態で、[機能/ - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - ② [機能/ - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「動作」、または「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。
- ※「設定モード」が表示されなかったときは、手順①から操作をやり直してください。





IC-DPR7SBTの場合

■設定のしかた

設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

- ① [機能/- ② 目的の項目名で、[▼]、[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
 - ※ほかの機能も変更するときは、①と②の操作を繰り返します。
- ③ [PTT]を押します。
 - 選択した設定値を確定し、設定モードが解除されます。
 - ※別売品を接続しているときは、その製品の[PTT]を押します。
 - ※[機能/ - ※設定モードを解除するまで通話できません。

5 各種機能の設定



■設定項目一覧

表示名/初期値	説明
ポケットビープ 動作 IC-DPR7SBT限定	OFF ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたときの呼び出し音や振動機能との組み合わせを設定します。 ※「サブCH」を「OFF」に設定したときに表示されます。
ポケットビープ ポケットビープ	30回 ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたとき、呼び出し音のパターンを設定します。 ※IC-DPR7Sは常時表示されます。(初期値OFF) ※IC-DPR7SBTでは「ポケットビープ-動作」を「ビープ」、または「ビープ+バイブ」に設定したとき表示されます。
ポケットビープ メロディ	1 ポケットビープ着信時のメロディー音を設定します。 ※「ポケットビープ」を「メロディ」に設定したとき表示されます。
ポケットビープ バイブレーター IC-DPR7SBT限定	1 バイブレーター動作時の振動パターンを設定します。 ※「ポケットビープ-動作」を「バイブ」、または「ビープ+バイブ」に設定したとき表示されます。
ポケットビープ 振動時間 IC-DPR7SBT限定	30秒 バイブレーターの振動時間を設定します。 ※「ポケットビープ-動作」を「バイブ」、または「ビープ+バイブ」に設定したとき表示されます。
設定 送信ビープ	ON [PTT]を押したときのビープ音を設定します。 ※「サブCH」を「OFF」に設定したときに表示されます。
設定 終話ビープ	ON 通話相手の終話信号を受信したとき、ビープ音で通知する機能です。
設定 ビープ音量	連動 ポケットビープやキー操作などの音量を[電源/音量]と連動させるか、固定値にするかを設定します。

表示名/初期値	説明
設定 ビープ音量 15	「設定-ビープ音量-連動」を「固定」に設定したときのポケットビープやキー操作などの音量を設定します。 ※「設定-ビープ音量-連動」を「固定」に設定したとき表示されます。
設定 ユーザーコード 共通	通話チャンネル共通のユーザーコードを使用するか、通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用するかを設定します。
設定 秘話 共通	通話チャンネル共通の秘話キーを使用するか、通話チャンネルごとに異なる秘話キーを使用するかを設定します。
設定 音声案内 OFF	通話チャンネル番号を読み上げる機能を設定します。
設定 マイクゲイン 0	マイク感度を設定します。
設定 VOX OFF	VOX機能を設定します。 「内部」、または「Bluetooth (IC-DPR7SBTだけ表示)」設定すると、マイクに向かって呼びかけるだけで、送信できます。 ※「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 VOX感度 3	VOXの感度を設定します。 ※「VOX」を「内部」、または「Bluetooth (IC-DPR7SBTだけ表示)」に設定したとき表示されます。
設定 VOXディレイ 1.5秒	VOX使用時、送信停止までの遅延時間を設定します。 ※「VOX」を「内部」、または「Bluetooth (IC-DPR7SBTだけ表示)」に設定したとき表示されます。
設定 個別呼出 OFF	同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。
自局 自局番号 0001	個別呼び出しを受けるための自局番号を設定します。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。

5 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

表示名/初期値	説明
機能 相手表示 ON	個別呼び出しする相手局の番号を表示する機能です。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。
機能 グループ表示 OFF	グループ呼び出しするグループ番号を表示する機能です。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。
リスト グループ01	着信を許可するグループ番号を設定します。 [サイド2]を押すと、「  」が点灯します。 ※「  」が点灯しているグループ番号から呼び出しを受けることができます。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。
機能 着歴表示 OFF	個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号やグループ番号を着信履歴として表示する設定です。 ※「個別呼出」を「ON」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 終話表示 話前	通話を終了後、待ち受け状態での表示内容を設定します。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。
履歴消去 着信履歴 ———	自局番号やグループ番号の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。 ※「個別呼出」を「ON」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 エマージェンシー OFF	緊急呼び出し(エマージェンシー)機能を設定します。
設定 マンダウン機能 OFF	本製品を身に付けた状態で人が倒れるなど、本製品が60度以上傾いた状態がつづくとき、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。 ※「エマージェンシー」を「ON」に設定したとき表示されます。
設定 ローンワーカー OFF	本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。 ※「エマージェンシー」を「ON」に設定したとき表示されます。

表示名/初期値	説明
設定 録音再生 OFF	自局宛の通話を録音する機能を設定します。 ※「サブCH」を「OFF」に設定したときに表示されます。
履歴消去 録音履歴 ---	録音した音声の履歴を消去します。 ※「録音再生」を「ON」に設定したとき表示されます。
設定 プライベートCH ON	よく利用する通話チャンネルとの切り替え機能を設定します。
プライベートCH CH呼出	特定の通話チャンネルをプライベートチャンネルに設定します。 ※【緊急呼び出し】を短く押すと、設定した通話チャンネルに切り替わります。 ※「プライベートCH」を「ON」に設定したとき表示されます。
設定 サイドキー 1/2 短押 OFF	[サイド1]、[サイド2]を短く、または長く(約1秒)押したときに動作する機能を設定します。
設定 サイドキー 1/2 長押 OFF	
設定 スキャン プライベート	スキャンタイプを設定します。 ※「設定サイドキー」を「スキャン」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
スキャン CH 01	スキャンするメモリーチャンネルを設定します。 [サイド2]を押すと、スキャンするチャンネルを指定(点灯：MC)します。 ※「スキャン」を「メモリーCH」に設定したとき表示されます。
スキャン 停止時間 10秒	電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、メモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。 ※「設定サイドキー」を「スキャン」に設定したとき表示されます。
スキャン 再開時間 5秒	スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「設定サイドキー」を「スキャン」に設定したとき表示されます。

5 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

表示名/初期値	説明
スキャン 終話動作 解除	スキャン中、[PTT]を操作したときのスキャン動作を設定します。 ※「設定サイドキー」を「スキャン」に設定したとき表示されます。
スキャン 一時スキップ 5分	スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する時間を設定します。 ※「設定サイドキー」を「一時スキップ」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 ワンタッチアンサー -----	ワンタッチアンサー機能で送信する音声の録音(最大10秒)、再生、消去をします。 ※「設定サイドキー」を「ワンタッチアンサー」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 一時音量 -5	周囲の会話を聞きたいとき、または通話相手の音声がい小さいときなどに、瞬時に音量を上げる、または下げるレベルを設定します。 ※「設定サイドキー」を「一時音量」に設定したとき表示されます。
設定 パワーセーブ OFF	電池の消費を抑えるためのパワーセーブ機能を設定します。 ※「個別呼出」を「OFF」、かつ「サブCH」を「OFF」に設定したとき表示されます。
設定 ロック動作 音量可	ロック機能動作中の音量調整を設定します。
設定 オートキーロック OFF	一定時間、スイッチやキーが操作されないとき、それらの操作を自動的にロックします。
設定 上空受信 OFF	上空用チャンネル(S1～S5)の使用を設定します。
設定 コントラスト 12	表示部のコントラスト(濃淡)を調整します。
設定 バックライト AUTO	表示部のバックライト明るさ(輝度)を設定します。

表示名/初期値	説明
設定 輝度 明るい	表示部のバックライト状態を設定します。
設定 外部電源 GND	別売品に外部電源供給するための設定です。
設定 ノイズキャンセル OFF	送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させる機能です。
設定 イヤホン設定 OFF	別売品のイヤホン装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力レベルを下げる機能を設定します。
イコライザー 送信 OFF	送信時の音質を変更するときに設定します。
イコライザー 受信 OFF	受信時の音質を変更するときに設定します。
サブチャンネルPTT サブCH OFF	サブチャンネルPTT機能を設定します。 ※下記項目を「OFF」に設定したとき表示されます。 「ポケットビープ」、「VOX」、「着信履歴」、「録音再生」、「パワーセーブ」
サブチャンネルPTT サブCH1 CH 01	サブチャンネル1に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サブCH2 CH 02	サブチャンネル2に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT メインPTT CH 固定	サブチャンネルで受信時、[PTT]でも応答できるかを設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サブPTTキー 短押	サブチャンネルで送信するときの操作について設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。

5 各種機能の設定

■設定項目一覧(つづき)

表示名/初期値	説明
サブチャンネルPTT VS-3サイドキー IC-DPR7SBT限定	OFF VS-3(別売品)の[▶▶] (早送り: [サイド1]に対応)、[◀◀] (早戻し: [サイド2]に対応)を押して、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで送信するかどうかを設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT メイン	OFF 無線機に現在表示されているメモリーチャンネル、またはサブチャンネル1/2で送受信したときのピープ音を設定します。
サブチャンネルPTT サブ1	OFF ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サブ2	OFF 無線機に現在表示されているメモリーチャンネル、またはサブチャンネル1/2で送受信したときのピープ音を設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT TX後スキャン	終話 送信後、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT RX後スキャン	終話 受信信号がなくなってから、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT ソウサ後スキャン	10秒 チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サーチ メ>サ1	OFF メインチャンネルを受信中、サブチャンネル1の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サーチ サ1>メ	OFF サブチャンネル1を受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「有効」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サーチ メ>サ2	OFF メインチャンネルを受信中、サブチャンネル2の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。

表示名/初期値	説明
サブチャンネルPTT サーチ サ2>メ OFF	サブチャンネル2を受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サーチ サ1>サ2 OFF	サブチャンネル1を受信中、サブチャンネル2の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。
サブチャンネルPTT サーチ サ2>サ1 OFF	サブチャンネル2を受信中、サブチャンネル1の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブCH」を「サイド1+2」に設定したとき表示されます。
設定 Bluetooth IC-DPR7SBT限定 OFF	Bluetooth機能を設定します。
検索HSリスト 検索HS IC-DPR7SBT限定 ---	周囲のBluetooth機能対応ヘッドセットを検索します。 [PTT]を押すと検索します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
検索DTリスト 検索DT IC-DPR7SBT限定 ---	周囲のBluetooth機能対応データ端末を検索します。 [PTT]を押すと検索します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
ペアリングリスト 機器なし IC-DPR7SBT限定	過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、接続します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
削除リスト 機器なし IC-DPR7SBT限定	過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、リストから削除します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。

5 各種機能の設定

表示名/初期値	説明
Bluetooth 音量 IC-DPR7SBT限定	連動 Bluetooth接続時の音量を[電源/音量]と連動させるか、固定値にするかを設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
Bluetooth 音量VOL IC-DPR7SBT限定	32 「Bluetooth-音量」を「固定」に設定しているときに、適用される値を設定します。 ※「Bluetooth-音量」を「固定」に設定したとき表示されます。
Bluetooth パワーセーブ IC-DPR7SBT限定	OFF 接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
Bluetooth ワンタッチPTT IC-DPR7SBT限定	OFF VS-3の[PTT]ボタンを短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
Bluetooth PTT&MIC IC-DPR7SBT限定	HS+OP Bluetooth接続時、[PTT]を有効にする機器を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
Bluetooth AF切替 IC-DPR7SBT限定	HS Bluetooth接続時の受信音の出力先を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
Bluetooth リセット IC-DPR7SBT限定	NO Bluetoothの全設定を初期化します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。
設定 リセット	すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。



■日常のお手入れと点検について

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- また、バッテリーパック（BP-290）やアルカリ電池ケース（BP-291）を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎ 無線機本体、充電器、バッテリーパック、アルカリ電池ケースの各端子（充電端子や電源端子）にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎ 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
また、アルカリ電池ケース、またはバッテリーパックなどがしっかりと装着されているか点検してください。
- ◎ 定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
- ◎ 音量が最小に調整されていないか、[電源/音量]を回して、表示部の音量レベルを確認してください。


■初期状態に戻す(リセットする)には

静電気などによる外部要因で本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットをしてください。

【操作のしかた】

- ① 本製品の電源を切った状態で、[機能/- ・「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
- ② [機能/- ・「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「動作」、または「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。
※「設定モード」が表示されなかったときは、手順①から操作をやり直してください。
- ③ [設定]を1回押します。
 - ・「リセット NO」を表示します。
- ④ [▲]を押して、「リセット YES」を選択します。
- ⑤ [PTT]を短く押します。
 - ・一時的に電源が切れ、初期状態になります。

ご注意

初期化操作の前に、バッテリーパックの残量表示が（十分）の状態でおこなってください。

なお、設定値がリセットされ再起動するまでの2秒間は、無線機の電源を切らないでください。

※リセットの途中で電源が切れると、故障の原因になることがあります。

6 ご参考に

■故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.31)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	バッテリーパック(ケース)の接触不良	バッテリーパック、またはアルカリ電池ケースの端子を清掃する アルカリ電池ケースをご使用の場合は、乾電池の極性を間違えていないかを確認する	—
	バッテリーパック、または乾電池の消耗	バッテリーパックは充電し、乾電池は新しいものに入れ替える	—
	バッテリーパックをご使用の場合、保護回路が動作している	無線機からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度装着してから電源を入れる	—
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に設定されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.2
送信できない (ブプッ・・・が鳴る)	5分間の送信時間制限が過ぎているとき	1分以上待ってから、もう一度送信する	P.8
	ほかの無線機が送信しているため、混信防止機能が動作している	[状態表示](緑色)が消灯してから送信する	P.8
	充電モードになっている	無線機を充電器からはずして、送信する	P.3
	上空用チャンネルになっている	CH01～CH30に移動する	P.i
通話できない	通話チャンネルが合っていない	相手と同じ通話チャンネルに合わせる	P.7
	ユーザーコードの設定が正しくない	相手と同じユーザーコードを設定する	P.9
	相手が秘話機能を使用していない、または自分と秘話キーの設定が異なる	相手の秘話機能と秘話キーの設定を確認する	P.11
	自分が秘話機能を使用していない		
	相手局番号、またはグループ番号を間違えている	相手局番号、またはグループ番号を確認する	—
相手から応答がない	相手との距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	P.8
通話チャンネル選択と送信出力切り替え以外の操作ができない	呼出用チャンネル(呼出CH)を設定している	通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH30、CH S1～CH S5*)に変更する ★上空で使用する場合	P.7

■故障かな?と思ったら(つづき)

現象	原因	処置	参照
キー操作ができない	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.13
受信音が聞こえない	秘話機能を使用していない	秘話機能と秘話キーの設定を確認する	P.11
	ユーザーコードを設定している	相手のユーザーコードの設定を確認する	P.9
充電が完了しない	充電モードでの受信頻度が高すぎる	必要の無いときは無線機の電源を切った状態で充電する	P.3
BC-226(付属品)で充電中に、充電ランプが橙色、または緑色で点滅、消灯している	バッテリーパックが正しく差し込まれていない	充電器に正しく差し込まれていることを確認する	P.3
	15℃～40℃以外の環境で充電している	15℃～40℃の環境で充電する	P.3
	各端子(充電端子や電源端子)の接触不良	ゴミやホコリが各端子に付着していないことを確認する	

※バッテリーパックを充電しなおしても電源が入らない場合や運用時間が短い場合は、バッテリーパックの故障、または寿命です。
(P.5)

お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■弊社製無線機との相互使用について

本製品は、下記の弊社無線機と相互に通信できます。

(2020年7月現在)

- ◎IC-DPR1★ ◎IC-DPR3 ◎IC-DPR30 ◎IC-DPR5★
- ◎IC-DPR6 ◎IC-DPR4 ◎IC-DPR7 ◎IC-DPR7BT
- ◎IC-DPR7S ◎IC-DPR7SBT ◎IC-DPR100

★本製品の緊急呼び出し機能(エマージェンシー)をご利用になる場合は、相互使用できません。

6 ご参考に

■アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.29)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

• 保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

• 弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00~17:00)

電子メール:support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ:<https://www.icom.co.jp/>

A～Z

Bluetooth	15
S1～S5	i
UC(ユーザーコード)	9
VOX機能	13, 20

あ行

アルカリ電池ケース	5
イコライザー	24
エマーゼンシー	21
オートキーロック	23
音量調節	2

か行

海水が付着したとき	vii
外部電源	24
外部電源制御	2
簡単ご利用ガイド	ii
距離(通話範囲)	8
故障	29, 30
個別呼び出し	9
混信防止(キャリアセンス)機能	8

さ行

サイドキー	22
サブチャンネル	24
サブチャンネルPTT機能	15
残量警告音	4
残量表示	4
充電	3, 4

さ行

充電時間	5
上空用チャンネル	i, 23
使用時間	5
初期化	28
スキャン	22, 23
設定モード	18
送信出力	13
送信時間制限	8

た行

通信範囲(Bluetooth)	15
通話範囲(無線機本体)	8
電源	2
電波干渉	8
電波法	vi
電波利用料	vi
特性と寿命について	5

な行

ノイズキャンセル	24
納入告知書	vi
納付	vi

は行

バイブレーター	19
バッテリーパック	1
パワーセーブ	8
秘話	11, 20
秘話キー	11

は行

秘話機能	9
膨らみについて	4
付属品	v
付属品の取り付けかた	1
ペアリング	15
ベルトクリップ	1
防塵性能	vi
防水性能	vi
ポケットビープ	19
ポケットビープメロディー	19
保護カバー	2

ま行

マイク	7
マイクゲイン	20
マンダウン機能	21

や行

呼出CH	i, ii, 7, 29
------	--------------

ら行

陸上・海上用チャンネル	i
リセット	27, 28
ローンワーカー	21
録音機能	14
ロック機能	13

高品質がテーマです。